厚地松山製鉄遺跡

【所　　在　　地】南九州市知覧町大字厚地字枦場，字河口及び字皆尾平
【種　　　　別】県指定史跡
【指定年月日】平成１４年４月２３日

製鉄炉

18世紀後半から19世紀前半までの２基の製鉄炉と３基の鍛冶炉が発見された。

調査の結果，製鉄炉は全体を石で組んだ石組製鉄炉であることが判明し，遺跡内にはふいごの動力に用いられた水車跡も残存していた。

江戸時代の薩摩地方には「たたら吹き製鉄法」とは異なる独特の製鉄法が存在したことが記録されており，調査の成果はこれを裏付けることとなった。

これらの鉄生産関連施設は，わが国の近代製鉄が始まる以前の製鉄技術を知る上での重要な遺跡である。